

# 日福大生 世界デフ水泳出場

日本福祉大三年吉田琉那さん(左)＝稲沢市小池＝が、十四～十九日にアルゼンチンで開かれる「世界デフ水泳選手権大会」に日本代表で出場する。夢だった世界の舞台の前に「自己ベストを出し切りたい」と語り、耳が聞こえない人のオリンピックと言われるデフレインピック出場への「第一歩に」と意気込む。(寺田結)

## アルゼンチンで14日開幕

吉田さんは一歳半で、耳がほとんど聞こえないことが分かった。水泳を始めたのは、沖縄出身で海が大好きな父親の影響だ。何度も海を訪れるうちに「泳げるようになりたい」と思うようになった。五歳のころ近所のスイミングスクールに通い始めた。

一宮聾学校の小学部六年で出場した水泳大会で、デフ



世界大会へ意気込みを語る吉田さん＝稲沢市国府宮の国府宮スイミングクラブで

## 3年・吉田さん「自己ベスト出す」

えてもらうなどのサポートを受けながら実力を伸ばした。今は大学の水泳部メインで活動しており、三月の代表選考会でついに派遣標準記録をクリアした。

大会の日本代表メンバーは男女八人で、三十の国と地域が相手だ。吉田さんはバタフライと背泳ぎ、400メートルの個人競技計四種目と、日本代表女子の400メートルに出場する。目標は「個人種目全てで決勝に残ること」という。

二〇二五年に国内で開催される東京デフレインピックも視野に入れる。六日に出国を控え、「外国の選手と一緒に泳げるのが楽しみ」と期待を膨らませている。